

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム令和元年度総会議事要旨

- 1 日時：令和元年 6 月 3 日(月)14 時 00 分～14 時 40 分
- 2 場所：日本自動車研究所 本館 4 階 401 会議室
- 3 出席者：林（会長）、甘利（副会長）、伊藤（清水副会長の代理）、佐波、飯野、長瀬、高橋（星川委員の代理）、安部（永井委員の代理）、中島、緒方、Li、遠藤
陪席者：平岡（セコム）、Qiao（スリーエム ジャパン）、見目（DRI ジャパン）、真城（〃）、山本（電力中央研究所）、竹下（産業技術総合研究所）、中島（防災科学技術研究所）、前山（〃）、石濱（筑波大学）
事務担当：仲村（筑波大学）、大塚（〃）、秋葉（〃）、鈴木（〃）、松原（〃）
(敬称略)

4 議事

【審議】

(1) 2019 年度年間活動計画について（資料 2）

遠藤委員より、資料 2 に基づき、2019 年度年間活動計画について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。なお、次の補足説明があった。

- 筑波会議への参加者について、後日事務局から各参画機関に照会するので対応いただきたい。なお、筑波会議参加のための日帰り交通費は筑波大学が支払う。
- 2020 年 1 月開催予定の第 2 回運営委員会はスリーエム ジャパン（相模原市）において開催する。
- 現在筑波大学の客員教員が所属する機関においては、職名を協働大学院教員に変更することから、2020 年度学位プログラム制移行に伴う協働大学院方式に係る協定締結手続きを 2019 年 9 月以降に開始するのでご協力いただきたい。

(2) Joint Seminar 減災との共同シンポジウム実施要領（案）について（資料 3）

遠藤委員より、資料 3 に基づき、令和元年 10 月 25 日開催予定の Joint Seminar 減災との共同シンポジウムのテーマ、次第、広報、主催等の案について説明があり、審議の結果、今後の調整は幹事会に付託することで承認された。また、NCDR から数名参加することが確認された。なお、次の補足説明があった。

- ポスター発送先について、希望があれば事務局宛連絡いただきたい。
- 共同シンポジウム参加のための交通費は、NCDR の分も含め筑波大学が支払う。

(3) その他

なし

【報告】

(1) 令和元年度第 1 回幹事会 (R1.5.24) について (資料 4)

遠藤委員より、資料 4 に基づき、令和元年度第 1 回幹事会について報告があった。

(2) 令和元年度リスク工学専攻体制について (資料 5)

遠藤委員より、資料 5 に基づき、令和元年度リスク工学専攻の教員・学生数、教員一覧、教育課程について報告があった。なお、次の補足説明があった。

- コンソーシアムの取り組みに関心をもった、コンソーシアム参画機関外の社会人学生が今年度入学した。
- インターンシップ科目の履修を希望する学生は現在 0 名。今後、改めて学生に周知する。
- 授業実施のための交通費は筑波大学が支払う。交通費の要不要について筑波大学に連絡いただきたい。

(3) NCDR が提供する科目の追加について

遠藤委員より、NCDR からリスク工学専攻集中講義の提案を受け、手続きを進めている旨報告があった。現時点での科目名は”Policy and case study on information-intelligence-based disaster risk management”で、2019 年 12 月に 2 日間の集中授業方式の日程で調整中。

(4) 国立台湾大学との連携について

遠藤委員より、国立台湾大学とは今後も連絡を絶やさず、筑波大学等に招き講義や講演をしていただくなどの形で交流を進めていきたい旨説明があった。

(5) その他

なし

以 上